

令和4年度 第1回酒田市小・中学校学区改編審議会  
記 録

○開催日時 令和4年7月12日(火)午後3時28分～午後4時17分

○開催場所 酒田市役所3階 第二委員会室

○出席者 委員…伊藤正美委員、大瀧徹委員、齋藤幹男委員、佐々木みどり委員、  
佐藤由佳委員、阿部建治委員、宮田浩一委員、荒生妙子委員、加  
藤博之委員、池田公夫委員(10名)

事務局…鈴木和仁教育長、池田里枝教育次長、佐藤元教育次長、高橋浩平  
企画管理課長、真鳥齊スクール・コミュニティ推進主幹、小松泰  
弘学校教育課長、五十嵐敏剛指導主幹、小野寺良行スクール・コ  
ミュニティ推進室次長、伊藤岳洋調整主任

○欠席者 委員…土門幸広委員、西村まどか委員(2名)

---

【1 開会】 (午後3時28分)

事務局(伊藤調整主任) :

最初に、委嘱状の交付を行います。

(事前に改選委員の席に委嘱状を配布していることを説明した)

それでは只今より、「令和4年度第1回酒田市小・中学校学区改編審議会」を開催いた  
します。

最初に、鈴木教育長よりご挨拶申し上げます。

【2 教育長あいさつ】

教育長 :

皆様改めましてこんにちは。本日はお忙しいなか、お集りいただき誠にありがとうご  
ざいます。また、ただ今ありましたけども、新しく委員をお引き受けいただいた方々、  
再任していただいた方々、委員の皆様におかれましても御礼申し上げたいと思います。

どうぞそれぞれのお立場で、また立場と関係ない状態でも構いませんので、様々にご  
意見をいただければ大変ありがたいですので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

この学区改編審議会は、名前を聞くとすごい感じがしますが、要は子どもたちの数が  
どんどん減っていくという現状を踏まえながら、酒田の子どもたちにどんな環境を提供  
できるのかということを考えていく会と思ひていただければいいのかなと思ひます。

先程宮田委員から市子連(酒田市子ども会育成連合会)の会報をいただきました。こち  
らに会長の写真があつて、「目配り、気配り、遊びは遊び」とあつて、これはいただき  
だなと思ひて。私は先輩から「目配り、気配り、心配り」と教えられてきました。

それぞれのお立場から、酒田の子どもたちにどんな教育環境を提供できるのかとい  
うことを軸にお考えいただければと考えておりました。後程担当からご説明ありますが、  
課題はとても多いです。学区1つ、それに絡んだ問題も多いです。併せて、全国的にも  
教育を取り巻く環境の変化というのも大きいものがありますので、学校に限らずお気づ  
きのことがあれば教えて頂ければと思ひますので、どうぞ忌憚のないご意見を願ひい  
たします。

### 【自己紹介】

事務局（伊藤調整主任）：

続きまして、今年度一回目の審議会となりますので、皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。

（委員自己紹介）

事務局（伊藤調整主任）：

続いて、教育委員会側も自己紹介させていただきたいと存じます。

（教育長を除く教育委員会自己紹介）

### 【3 議事】

事務局（伊藤調整主任）：

それでは次第に従い、議事に移りたいと思います。「会長の選任について」ですが、阿部会長が今回改選されましたので、改めて会長の選任が必要となります。学区改編審議会条例第4条第1項において「会長は、委員の互選によって定める」となっております。また、議事を進行していただく議長については、同条例第6条第2項において「会長は、審議会の議長となる」とあります。現在、会長が空席となっておりますので、会長が選任されるまでの議事については、会長職務代理者の宮田委員に議長をお願いしたいと思います。それでは宮田委員、よろしく申し上げます。

会長職務代理者：

会長が改選されるまでの間、私が議長の職務を行わせていただきます。ご協力の程、よろしく申し上げます。

（欠席者数の確認、定足数に達していることを確認）

「会長の選任」を議題といたします。学区改編審議会条例第4条第1項の規定により、会長は審議会にて互選することになっております。お諮りいたします。互選の方法として、委員の推薦の発言によりたいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声）

会長職務代理者：

ご異議なしと認めます。よって、互選の方法は、委員の推薦発言によることにします。推薦の発言をお願いいたします。

池田公夫委員：

前年度に引き続き、阿部建治委員をお願いしたいと思います。

会長職務代理者：

ほかにご発言はございませんでしょうか。

（発言なし）

会長職務代理者：

それでは、お諮りいたします。ただいま推薦されました阿部建治委員を会長とすることにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

会長職務代理者：

ご異議なしと認めます。よって、会長は、阿部建治委員にお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

(議長を交代、会長は議長席へ移動)

会長：

改めまして皆様こんにちは。会長に再任されました阿部と申します。

私は「子どもは日本の宝だ」といつも申し上げております。ニュースでは子供の置き去りやいじめなどの報道があり、情けなさで涙がこぼれる時もあります。子どもをどうやって幸せに育てようかという、教育も同じ。基本は教育だと思います。

皆様と一緒に未来の子どもたち、希望いっぱい、夢を持った子どもたちを幸せに育てるために、皆様とここで議論したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

事務局（伊藤調整主任）：

阿部会長ありがとうございました。それではこれより議事に移ります。阿部会長、議事の進行をお願いいたします。

会長：

それでは、次第に沿って議事を進めたいと思います。事務局より報告をお願いします。

#### 【4. 報告】

事務局（スクール・コミュニティ推進室次長）：

企画管理課の小野寺と申します。それでは説明させていただきます。

(配布資料について説明を行った。)

会長：

ありがとうございました。事務局から説明のあった件について、委員の皆様からご質問等ありますか。

私から一ついいですか。南平田小学校が今年から統合したということで、数年前に学区改編審議会でもずいぶんと心配していましたが、様子はいかがですか。

齋藤幹男委員：

私は去年から南平田小学校PTA副会長として参加したので、昨年度の統合準備委員会からの参加となりますが、既にいろいろ下準備をしてもらっていて、地域の皆さんからの協力も行き届いていた状態でした。子どもたちも以前から交流事業をやっていたので。あとは学童も、南平田小近くの学童に通ってきている田沢小の子どももいたので、早くから交流ができていたのも良かったと思います。子どもたちも楽しそうに学校で過

ごしていると聞いていますので、統合して良かったと思います。

会長：

よかったですね。それを聞きたかった。ありがとうございます。  
何か皆様ございますか。

宮田委員：

山形新聞の令和4年2月13日日曜版に、田沢小学校閉校の特集記事が掲載されました。山形新聞でタイミングよく取り上げてくれたなあと思います。たぶん皆さんご覧になったと思いますが、今日のために大事に保管して持ってきました。

それから酒田市地区自治会連合会会報(第43号)で、前の地区自治連会長(黒森地区理事)が、川南地区の四小学校で複式学級の編制が見込まれることについて書かれています。将来の川南地区の子どもたちのため、今どのような行動をとるべきか住民に呼びかける内容となっています。ある意味、非常にタイミングよく取り上げていただいたと思います。そこでお願いですが、市広報の平成25年3月1日号で特集「学校の今」として、当時の0歳から14歳児までの人口や市町合併以降の小中学校統合の変遷など、いろいろ載っております。私達はこういう立場でいろいろな情報をいただいて意見交換をする機会もありますので状況はよく認識しておりますし、機会があれば私の所属する組織の皆さんにも状況はお話ししておりますけども、残念ながら市子ども会育成連合会には川南地区で宮野浦小学区しか入っていないので、なかなか情報提供できず歯がゆい感じがします。できれば酒田市民に今の少子化の現状、酒田市の対応について今一度広報の特集として示すのも一つの策ではないかと考えています。特に中学校の学区が2つほど変わりますので。その辺りも含め、情報提供していただく機会をぜひ作っていただければと考えておりましたので、ご検討よろしく願いいたします。

事務局(スクール・コミュニティ推進主幹)：

事務局としましても、酒田市教育人口統計については市のホームページで毎年掲載しており、数字的なものは誰でも見ていただけるようにしております。ただ、市広報の特集記事としては、宮田委員ご指摘のとおり最近の特集記事の形で掲載しておりませんが、記事の規模、量の関係もありますので、適切な時期にこちらでも検討していきたいと考えております。

会長：

よろしいですか。他にご意見ございますか。

加藤博之委員：

資料8に記載されている「川南地区の教育環境を考える会」「川南地区PTA連絡協議会」について、広く意見を伺ったとか意見交換したと書いてありますが、差支えない範囲で結構なのでどのような意見が出たのか聞きたいというのが一つ目です。

もう一つ、資料3「酒田市立小・中学校の学校規模に関する基本方針」について、かつて教育委員会の中では通学時間について検討されたことはあったのか、極端な話、松山地域の柏谷沢から東部中ではなく、酒田三中あたりに通学してとったらどれくらい

かかるのか、という恐ろしさもあります。通学時間について検討されたことがあったのか、あるいは今後検討する予定があるのかどうか、お尋ねしたいと思います。

事務局（スクール・コミュニティ推進主幹）：

まず最初のご質問ですが、令和3年1月8日に開催した川南地区の教育環境を考える会では、地域の代表者からお集まりいただき開催しております。学校統合のみをテーマとして扱った会ではありませんが、勢いそのような話題も出たところでした。その中で様々なご意見を頂戴しましたが、学校統合そのものに対して否定的な意見というのは、その時点では無かったと認識しております。出席者からは、統合は避けられないのではないかとといった意見も聞かれたところでした。

また、先週7月8日に開催された川南地区PTA連絡協議会にスクール・コミュニティ推進室の者が出席し、いろいろお話を伺ってきたところでした。今回はPTAの代表者の皆さんの会議に出席したのですが、こちらでも統合自体に否定的なご意見はなかったかなと認識しております。細かいところでは様々なご意見を頂戴したという報告を受けておりますが、大まかなところでは統合そのものを否定されるということとはなかったと捉えております。

それから通学時間の検討の有無についてのご質問ですが、国の指針では概ね1時間以内ということになっていると記憶しております。これは最長でも、ということになるかと思いますが、そちらを超えないというのは大前提になると思っております。ただ、酒田市教育委員会として文書として明文化したものは無いのですが、今のところは旧町単位で小学校が存続しているということで、松山地域の3小学校統合の際にも、旧町単位で小学校を残したいというご説明はさせていただいたという認識です。

加藤博之委員：

ありがとうございました。統合自体は反対ではないが各論になると難しいというところも、はっきりとは答えてはいただけませんでした。あったのかなあと思いながら。

あともう一つが、旧町単位でというのが難しいところがこれから出てくるのかなと、そういった時に最上地方では小中をひとつにして、という発想も出ていますが、それは中学校で生徒数が減っていくと教科担任が揃わないということもあり、それをクリアする意味もあるのかどうか、ちょっとわからないですが、そういったところも教育委員会からぜひ準備していただければと思ったところでした。

事務局（スクール・コミュニティ推進主幹）：

加藤委員からのご意見は今後の参考にさせていただきながら、検討させていただきたいと思っております。

会長：

ありがとうございました。他にございませんか。

荒生妙子委員：

今回の資料で、浜田小、泉小の学区を対象に、中学校区に関するアンケートを行ったとの説明でしたが、もうずいぶん前からこの話は出ていましたが、これは宮田委員の話

だとそのように変わる予定なんですか。中学校区の改編を前提としてアンケートを取ったということなんですか。

事務局（スクール・コミュニティ推進主幹）：

今のアンケートについては、学区改編の是非を問う投票ではなく、ご意見を伺う趣旨で実施したものです。浜田小学校は二中と六中、泉小学校は一中と六中に分かれて進学することから、同級生が分かれてさびしいという声は荒生委員ご指摘のとおり、以前から聞かれていたところでした。今回改めてクローズアップしたのは、今年度から本格実施となった小中一貫教育の観点から、小中で一本化の道筋がつけにくいということがあり、できればシンプルな形の学区に整理した方が小中一貫教育を推進しやすいということでございます。今回のアンケートでは現状についてどう思われるかという質問、もし現状から改編した方がいいというお考えであれば、いつ頃からするべきか、すぐ改編するべきか、当面はこのままとするべきか、ということをお伺いしております。

最終的な集計がまだ終わっておらず委員の皆様にお知らせできる場所ではありませんが、そういったアンケートを現在集計中です。

会長：

よろしいですか。他にございませんか。それでは次に移ります。  
その他、事務局から何かございますか。

事務局（伊藤調整主任）：

それでは事務局から一点ご連絡いたします。

次回の学区改編審議会の日程についてです。学区改編審議会はここ数年、夏と冬の年2回開催しております。今年度の次回日程ですが、先程ご説明した浜田小及び泉小のアンケートの結果を踏まえ、学区改編審議会を臨時で開催するという可能性もございます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり、やむなく開催を中止したということもございましたが、様々な情勢を勘案しまして、書面協議などその時々で適切な形での開催を検討したいと思います。今後の日程につきまして、決まり次第委員の皆様にお知らせいたしますので、その際はよろしく願いいたします。事務局からは以上です。

会長：

ありがとうございました。

その他で、委員の皆様からなにかございませんでしょうか。

無いようですので、本日の会議をこれで閉めたいと思います。それでは事務局にお返しします。

事務局（伊藤調整主任）：

阿部会長、どうもありがとうございました。

それでは以上をもちまして、令和4年度第1回学区改編審議会を閉会いたします。

ありがとうございました。

以 上